

外来診療予定表

平成30年12月1日現在

診療科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
総合診療科 (新)新患・(再)再来	(新)神保 (新)☆板井	(再)壁谷 (再)神保	(新)神保 (新)(血)中山 (新)(消)中村	(再)神保 (再)(消)中村	(新)中村(時まで) (新)(婦)☆金井	(再)神保	(新)(血)☆松村 (新)(婦)☆松崎	(再)壁谷 (再)神保	(新)神保 (新)(呼)☆梅津	(再)壁谷 (再)(消)中村
循環器内科	植田	高松	井上 間淵	井上	☆山岸 小野	☆山岸	植田 高松 鈴木(忠)	飯塚 鈴木(忠)	井上 小野 ☆山岸	間淵 ☆金井
呼吸器内科	中川 ☆池田(香)	中川	☆内田(恵) ☆池田(香)			須賀 ☆梅津 田口	☆内田(恵) ☆池田(香)		中川	
血液内科	外山	☆松村	斉藤(明)		斉藤(貴)		斉藤(明)			外山 中山
腎臓・リウマチ	☆月田	☆太田 ☆松崎	茂木(伸)		☆太田 ☆月田		塚田 茂木(伸)	塚田	塚田	塚田
糖尿病内科	今村				☆朱		☆朱 今村	☆朱 今村	☆朱 今村	☆朱 今村
甲状腺				今村		西野(第1・2・3・4)				
消化器内科 肝臓	☆山口			(消・肝)壁谷		☆山口		秋谷		
神経内科	石川	石川	☆古田(み) ☆古田(み)					柴田	古田(夏)	古田(夏)(第2・4)
脳神経外科	若林		甲賀/若林/小島		田村 甲賀		小島		甲賀	
心療内科	※五十嵐	※五十嵐	※五十嵐 ※須田	※五十嵐 ※須田	※五十嵐		※五十嵐	※五十嵐	※五十嵐	
外科 ()がん専門外来	熊倉 中里 (新)☆原田	(消化器)熊倉 (消化器)中里	石崎 ☆松本 (新)加藤	石崎 (乳)☆松本	設楽 ☆松本 (新)矢野間	(循環器) ※阿部(第3)	設楽 加藤 (新)矢野間	(胃・大腸)加藤 (呼吸器)設楽 (胃・大腸)矢野間	森永 (新)熊倉 ☆原田	(胃・大腸・肝胆膵) 森永 (消化器)☆原田
ストーマ外来										要予約
整形外科	島田 ☆永井 ☆土田		中島 勝見 萩原(明)	※関(第2・4) ※三枝(第1・3)	☆丹下 ☆土田 萩原(明)		☆丹下 ☆永井 中島		島田 ☆土田(第1・3・5) 中島(第2・4) 萩原(明) 装具外来	
装具外来 10時30分～			装具外来				装具外来			
リハビリ科			有井		清水					
産婦人科 (婦)婦人科・(産)産科	(婦)吉田 (産)☆延命	※(術前)遠藤 吉田	(婦)☆延命 (産)吉田	(婦)吉田 (産)☆延命	(婦)吉田 (産)似内	(婦)似内 (産)吉田	(婦)☆延命 (産)遠藤	(婦)※遠藤 (産)☆延命	(婦)小松 (産)池田(禎)	(産)小松 池田(禎)
助産師外来		※13時～14時		※13時～14時		※13時～14時			※(1・2)9時～ 9時30分	
ペインクリニック	荒井/金井/飯原(専)						牛込			
小児科 (乳)乳児健診 (予)予防接種	渡部	(予)☆小山 (内分)※和田 (心臓)※岡田(3)	☆小山	※渡部 ※☆小山 ※川嶋	相馬	※相馬	渡部 (乳)※渡部 ※川嶋	岩脇	※相馬 ※岩脇	
小児外科								※鈴木 (第1・3・5)		
耳鼻咽喉科		※14時30分～ 群大	※非常勤		※古屋		※群大	※14時～ めまい外来		
眼科	群大	群大	※[検査]	※[検査]	※[検査]	※[検査]	群大	群大	群大 群大	※[検査] [手術]
皮膚科	嶋岡		嶋岡	[手術]	嶋岡	13時～15時手術	嶋岡	嶋岡	嶋岡	嶋岡
泌尿器科	内田(達) 武井	内田(達) 武井	坂本 ☆金山	坂本 武井	☆金山		※内田(達) ※坂本		武井 ☆金山	武井 坂本
緩和ケア外来						※15時～16時武井				
放射線治療科		※☆塩谷	※☆塩谷	※☆塩谷	※☆塩谷	※☆塩谷				※☆塩谷
歯科口腔外科	高山 ☆大隅	手術 手術	高山 ☆大隅	高山 ☆大隅	高山 ☆大隅	高山 ☆大隅	高山 手術	手術	高山 ☆大隅	高山 ☆大隅
形成外科					軟口(第1・2・3・5)					

診療時間：8時45分～17時00分 ※は完全予約 ☆は女性医師
受付時間：〈午前〉8時～11時 〈午後〉13時～16時 新患(初診)は午前のみ

■発行：〒375-8503 群馬県藤岡市中栗須813番地1 公立藤岡総合病院 経営管理部 企画財政課
(代表)TEL 0274-22-3311 FAX 0274-24-3161 URL <http://www.fujioka-hosp.or.jp/>

2019年 冬号 発行日▶2019.1.31

病院の理念
患者本位の医療

基本方針

- 1 患者さんの意思を尊重し、信頼される医療を提供します。
- 2 地域中核病院として、高度な医療と救急医療の充実に努めます。
- 3 急性期病院として、関係機関と連携し地域医療の充実に努めます。
- 4 地域がん診療連携拠点病院として、機能の充実強化に努めます。
- 5 臨床研修指定病院として、地域医療を担う優れた医師の育成に努めます。
- 6 地域医療支援病院として、地域の医療人の教育・研修の充実強化に努めます。

研修理念
医師臨床研修
基本方針

臨床研修は、医師が、医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割と医療チームの一員であることを認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付けると同時に医療安全への配慮を身に付けることを基本理念とする。

- ・ 基本的知識・技能・態度を修得する。
- ・ 患者中心の医療を理解し、実践する。
- ・ チーム医療の重要性を理解し、実践する。
- ・ 医療安全を深く理解し、実践する。
- ・ 医療人としての倫理観を養成する。
- ・ 地域医療の重要性を理解し、実践する。

公立藤岡
総合病院
地域医療連携だより

年頭挨拶

組合事業統括兼病院長 石崎 政利



皆様におかれましては穏やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。日頃、病院運営につきまして、地域の皆様にご理解ご支援を賜り誠にありがとうございます。また、地域医療連携にご協力いただきありがとうございます。

昨年は、新病院開院後の混乱や診療報酬改定の影響でご心配ご迷惑をおかけしましたが、無事新病院としての第一歩を踏み出すことができました。これもひとえに地域の皆様のご支援の賜と厚く御礼申し上げます。

新病院で新たに開設した歯科口腔外科、形成外科、小児外科を受診する患者さんは次第に増えてきており、回復リハビリ病棟や緩和ケア病床も多くの患者さんに利用していただき、地域の皆様の需要に応えられるようになってきました。また、患者支援センターや緩和ケアセンターの支援も軌道に乗ってきており、医療サービスも徐々に向上してきております。かかりつけ医との連携を強化した紹介型外来も浸透してきており、引き続き地域医療支援病院の役割を果たしていきたいと思っております。当院の使命である救急医療や高度専門医療を中心とした急性期医療の実績も堅実な結果を残すことができ、医療機能の強化及び最高品質の医療サービスの提供を目指した様々な取り組みが少しずつ実を結んできております。

今年は、これまでの取り組みを推進し、2025年あるいは2030年以降を見据えた新しい時代の中核病院としての役割を果たしていきたいと思っております。激動する医療環境の中でも当院のあるべき姿を見失うことなく、患者さんや地域の皆様から頼りにされ、そして職員が自信と誇りを持って働ける病院であり続けるために、安全・安心で、質の高い効率的な医療の提供に全力で取り組んでまいります。

これからも、感染症発生時や災害時にも医療を継続できる体制を整備し、地域住民の健康保持及び地域医療の充実に向けて努力してまいりますので、引き続き皆様のご理解ご支援をよろしくお願いいたします。

外来開設の
ご案内

心臓血管外科

あ べ とも の び
心臓血管外科 阿部 知伸

群馬大学医学部附属病院 循環器外科教授



このたび公立藤岡総合病院で心臓血管外科外来を担当させて頂くこととなりました。まずはひと月に一度(第二または第三水曜日)からとなりますが、心臓血管外科手術を行う施設が直近になく、一方充実した循環器内科がある病院での外来開設で、地域医療に有意義な役割を果たしてゆけるようになりたいと願っております。

今日の心臓血管外科治療は、薬物治療や血管内治療が進歩する中、「ほかに治療法がないから」行うのではなく、「ほかの治療法より長生きできて、症状が取れて長く元気に暮らせるから」積極的に選択するものとなって来ています。このような積極的な選択には、まず手術治療が上手くいく、ということが前提になります。

公立藤岡総合病院では心臓血管外科手術は行っておりませんので、手術治療自体は主に群馬大学病院で行うことを考えさせて頂きたいと思っております。群馬大学病院には昨年循環器外科に専任教授がおかれ、以後、それ以前の約2倍の手術件数、約3倍の高難度手術件数となっております。平成30年は緊急手術を含めて一例も死亡がありませんでした。私は弁膜症において最も専門的トレーニングを受けておりますが、他のスタッフも含め血管内治療も非常に多く、虚血性心疾患、大動脈瘤、末梢血管、いずれも高水準の治療を提供できるものと思っております。

患者さんを慎重に診察して、皆さん手術前より元気になってお帰り頂くことを目指しております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

第13回公立藤岡総合病院研修医症例発表会

平成30年12月6日

発表者及び演題

1. 半田 敬祐
左前下行枝に垂完全閉塞を伴った33歳急性下壁心筋梗塞の一例
2. 反町 隼人
自己免疫性血球減少との鑑別に苦慮した血栓性血小板減少性紫斑病
3. 根岸 佳那
間質性肺炎の経過中に急性呼吸不全を呈した1例
4. 河野 慧
下腿浮腫の症状から診断に至った全身性エリテマトーデスの症例
5. 青木 友紀
可逆性脳梁膨大部病変を有する軽症脳炎・脳症を合併した急性巣状細菌性腎炎の男児例
6. 坂本 康大
脾臓癌に合併した肺髄膜腫様結節の1例
7. 清水 一輝
再発を繰り返す脳梗塞の診断と治療塞栓源不明脳梗塞の1例
8. 荒巻 裕斗
MEN1を併存疾患にもつ左尿管癌の1例



今年度は清水一輝先生が優秀賞を受賞しました。

研修医症例発表会の感想

研修医 清水 一輝

日頃より大変お世話になっております。12月6日に研修医症例発表会を開催して頂きました。お越し下さった医師会の先生方、病院スタッフの方々、誠にありがとうございました。今回、多くの方にご出席頂き、非常に緊張感のある会となりました。そのような場で発表することができたのは貴重な経験です。発表までの流れについても、情報のまとめ方や伝え方、発表技術等を学ぶことができたので、今後の医師人生に活かしたいと思っています。今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

災害医療訓練報告

今年度の災害医療訓練は、病院移転後の初めての災害医療訓練となることから、7月に病院幹部を中心としたメンバーによる机上訓練を実施し、予めマニュアルの検証と傷病者を受け入れる状況を確認し、12月8日に全職員及び関連機関を対象とした実動訓練を開催しました。

実動訓練では高速道路のバス事故を想定し、多数傷病者を受け入れることにより、更に現実に則した傷病者受入対応を検証することができました。特に情報伝達方法、指揮命令系統の確立、被災者受入準備から受入れ後の対応等、一連の流れを実施したことで数々の課題が明確になり、速やかにマニュアルの訂正に生かしたいと考えています。

今後も災害拠点病院としての使命を果たすために、年間数回の部分的な訓練を計画し、全職員に対し計画的に災害教育を実施することが重要であるということを、改めて痛感しました。

安全管理センター 鈴木 晃



緩和ケア研修会のご案内

『緩和ケアは「がんの治療」と一緒に始めます。』

緩和ケアのイメージとして「がん治療ができなくなった方への医療」「がんの終末期に受けるもの」と思われる方も多くいらっしゃるかと思います。

緩和ケアは、がんによって起こりえる多くの苦痛(身体的苦痛・精神的苦痛・社会的苦痛・病気に直面する患者・家族の苦痛)を予防・緩和し生活の質を改善する取組みで、がんと診断されてからスタートし治療の初期から一緒に受けるケアとなります。

当院はがん診療連携拠点病院として、平成21年より院内外の医療従事者の方が緩和ケアを理解し知識と技術を習得する事を目的として緩和ケア研修会を開催しております。

今年度までの10年間で、院内外の医師、医師以外の多職種(薬剤師・看護師等)186名の方が修了されております。(今年度は17名修了)

医事情報課 新井 敬継

緩和ケア研修会は、来年度より受講の流れが新しくなります。

事前にeラーニングで講義部分を受講し、修了証書発行後(2年間有効)に集合研修(1日)へお申込み頂く流れとなります。来年度の集合研修開催日が決定次第、ホームページ等でご案内いたしますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

